


2017年10月28日



小学校英語教育学会（JES）研究推進委員会企画
2017年度リサーチメソッド研修会
「小学生を対象とした量的研究と英語のテストについて」

本年度のリサーチメソッド研修会のご案内です。今回の研修会では、新学習指導要領下で小学校英語が教科化することをうけて、小学生を対象としたリサーチ、またそれに使用する言語テストについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。是非、ご参加をご予定下さい。

- ・日時：2018年1月20日（土）午後 13時30分～16時 受付13:00～
- ・場所：青山学院大学 総研ビル 第18会議室
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>
- ・講師：アレン玉井光江先生（青山学院大学）
- ・参加資格：本学会会員の皆様をはじめ、小学校英語教育に従事されている方及び興味・関心をお持ちの方ならどなたでも参加できます。
先着60名。定員に達し次第締め切ります。
- ・参加費：JES会員および学生—500円、非会員 800円
- ・申込方法：2017年12月25日（金）17:00までに、<http://urx.red/GFe9>の申込画面からお申し込み下さい。（当日参加も可能ですが、資料の準備のため、できるだけ、事前お申し込みをお願いします。）
- ・問い合わせ先：立命館大学湯川笑子 eyt24310@lt.ritsumei.ac.jp

新学習指導要領のもと、公立小学校では高学年児童を対象に新しく外国語が導入されます。その本格的な実施を前に、文部科学省は移行期間に使用する予定の新教材 We Can! を公表しました。現場では来年度を待たず、すでに We can! をどのように使うのか試行錯誤を始めた学校もあるようです。

高学年では児童の英語能力を育て、さらにそれを定着させていくことが求められるようになります。授業を通してどのような力がついたのか見てみたい、またどのような教え方がいいのかを検証したいなどと思われる先生方や研究者も増えてくると思います。

そこで我々研究推進委員会では、今回小学生を対象とした英語に関する研究はどのように行えばいいのか、また、能力を測定するためのテストはどのように作成したらいいのか、などについて、具体例を提示しながら皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。ご興味のある先生方、事前知識などなにもなくても大丈夫です。是非ご参加ください。